

国家公務員 技術系職種ガイド2027

国のミライをつくる、唯一無二の挑戦がある



国のミライをつくる、 唯一無二の挑戦がある

公務のブランドメッセージ

社会全体に公務のポジティブなイメージを発信していくため、2025年7月に公務ブランディング府省横断チームが立ち上がりました。様々な府省の職員が自身の経験などから自分の仕事の価値や魅力を議論しあい、公務の仕事への「想い」を整理しました。サブメッセージとして「6つの種」もあわせて公表しています。



6つの種

- 守るべき日常を守り、新しい日常も創る
- 主語は「日本」対象は「国民」 日本まるごと、自分ごと
- 人を想い、社会のあたりまえをアップデートする使命
- キャリアの可能性は、この国いっぱい広がっている
- 国家公務員、すべてが仲間 「きれいごと」を本気で形にできる場所
- 社会に感じる「^{はてな}？」のため、私たちの挑戦がある

公務ブランドメッセージ
コンセプトブックはこちら



区分専攻マトリクス図

この表は、各府省がこれまでに採用した技術系職員の出身学部等を表したものです。
(各採用試験の採用予定数は、下記二次元コード参照)

府省庁名	総合職試験											一般職試験											本府省以外の 主な勤務先
	情報系	機械系	土木系	建築系	数理系	物理系	化学系	農学系	農工系	森林系	その他	情報系	機械系	土木系	建築系	数理系	物理系	化学系	農学系	農工系	森林系	その他	
会計検査院	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
人事院	●					●		●				●											—
内閣府	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
宮内庁												●	●	●					●	●	●		—
内閣官房国家情報局												●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
内閣官房内閣 衛星情報センター												●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
警察庁	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	管区警察局
科学警察研究所	●	●	●		●	●	●	●	●		●												—
個人情報保護委員会	●											●											—
金融庁	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
消費者庁		●									●	●							●				—
デジタル庁	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
総務省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	総合通信局
消防庁	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
法務省				●								●	●		●								—
公安調査庁	●	●										●	●										公安調査局
外務省	●		●	●								●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	在外公館
財務省(本省)	●	●	●	●	●	●			●		●	●		●									—
財務省(財務局)												●	●	●									財務局
財務省(税関)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	税関
国税庁	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	国税局
文部科学省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
厚生労働省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地方厚生局
農林水産省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地方農政局、検査指導機関
林野庁	●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	森林管理局
水産庁	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	漁業調整事務所
経済産業省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	経済産業局
特許庁	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
国土交通省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地方整備局、地方運輸局、 地方航空局
気象庁	●		●		●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	管区气象台、地方气象台
運輸安全委員会												●	●	●			●						—
海上保安庁	●	●	●		●	●	●	●				●	●	●	●				●				管区海上保安本部
環境省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地方環境局
原子力規制庁	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
防衛省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	陸上自衛隊、海上自衛隊、 航空自衛隊、地方防衛局 研究所及び試験場
防衛装備庁	●	●			●	●	●		●		●	●			●	●	●		●				

凡例

情報系	情報工学系、電気・電子系
機械系	機械系、原子力工学系、造船工学系、材料工学系
土木系	土木系、資源工学系
建築系	建築系
数理系	数理科学系
物理系	物理系、地質系
化学系	化学系、生物系、薬学系、農芸化学系
農科系	農学系、農業経済系、畜産系、水産系
農工系	農業工学系
森林系	林学系、砂防系、造園系、林産学系
その他	情報系から森林系までのいずれにも該当しない理系専攻分野



採用予定数
(総合職試験) は
こちら



採用予定数
(一般職試験(大卒程度試験)) は
こちら

令和10年4月の採用予定数は、令和9年1月初旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考してください。

理系出身職員活躍中! ▶





市民の安全を守るリーダー

警察庁には、国民の「安全・安心」のために、技術系職員がその能力を存分に発揮できるフィールドがあります！

本庁では総合職（行政職）、一般職（情報通信/デジタル/サイバー/DNAセンター）職員が、附属機関である科学警察研究所では総合職（研究職）職員が活躍しています。総合職（行政職）職員は、理系としての素養を活かし、

生活安全、刑事、交通、警備、サイバー警察といったあらゆる部門における政策の企画立案を担うほか、都道府県警察に出向し幹部として捜査指揮や組織マネジメントを担っています。

一般職職員は、技術のプロフェッショナルとして、警察独自の情報通信ネットワークの構築、警察業務のDX、サイバー犯罪捜査における技術的支援等を担っています。

総合職（研究職）職員は、それぞれの専門に応じて、科学捜査についての研究・実験等を担っています。



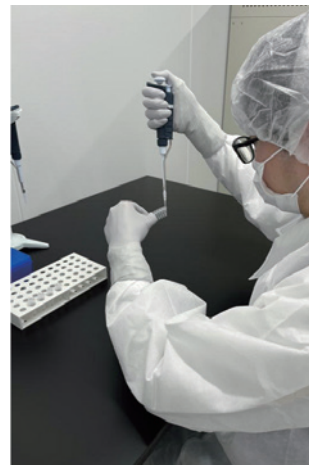
都道府県警察における現場指揮



培った技術と知識を武器にサイバー空間の脅威に立ち向かう。



令和6年能登半島地震における警察部隊活動への技術的対応



被疑者DNA型記録等の事件捜査への活用

もっと詳しく読む ▶



先輩職員に聞く

From senior to you

科学技術の力で、 よりよい警察を実現する

2021年採用 総合職（大卒）工学区分

黒田 あかり

警察庁 長官官房技術企画課
先端技術導入企画室課付

日々の仕事

現在は、急速に進展する科学技術の研究開発・活用等の動向を追いながら、庁内や都道府県警察の警察活動における技術ニーズとのマッチングを図り、限られた人的・財政的資源の下で最大限の効果を上げられるようその導入に取り組んでいます。特に、昨今の爆発的な生成AIブームの影響は大きく、勉強の毎日です。

仕事の面白み、やりがい

警察における科学技術政策の司令塔として、各部門の様々なニーズに応えられるよう、AI、ドローン、システム等最適な技術の利活用を検討することは、正解のない問題の答えを探すような作業です。未来の警察のあるべき姿を描き、それに一歩ずつ確実に近づいていくために、科学技術の力を使ってできることを日々模索しています。





デジタル社会形成の司令塔

デジタル庁は、「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」をミッションとして、社会全体のデジタル化を推進しています。誰もがデジタルの恩恵を受けるデジタル社会を実現するためには、技術面・制度面・体制面等、多面的なアプローチが必要です。技術系のバックグラウンドを持つ職員を中心に、現在・未来の社会課題の解決や、人に優しいデジタル社会を実現するために「技術面」でアプローチをする役割を担っています。また、専門性の高い知識・スキルを活かし、行政サービスの利便性向上や、デジタル社会の基礎整備、デジタル技術に基づいた制度設計等の業務で活躍しています。



デジタル庁オフィス（芝生エリア）

デジタル庁オフィス（執務エリア）

もっと詳しく読む ▶



マイナポータル：行政手続のオンライン窓口



ガバメントAI「源内」：デジタル庁が構築する生成AI利用環境

先輩職員に聞く

From senior to you

全省庁をつなぐシステムを支える

2024年採用 総合職（院卒）デジタル区分

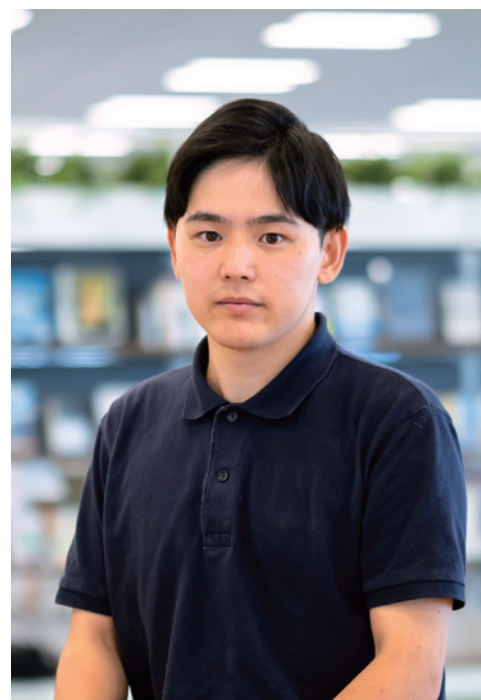
武次 和志デジタル庁 省庁業務サービスグループ
ガバメントソリューションサービス（GSS）担当

国家公務員になろうと思ったきっかけ

民間企業（IT系など）への就職も視野に入れていましたが、特定の分野にとらわれず、国全体に幅広く貢献できる仕事に魅力を感じ、自身の専攻分野を活かしつつ多くの人の生活を少しでも良くしたいという思いから、国家公務員を志望しました。

仕事の面白み、やりがい

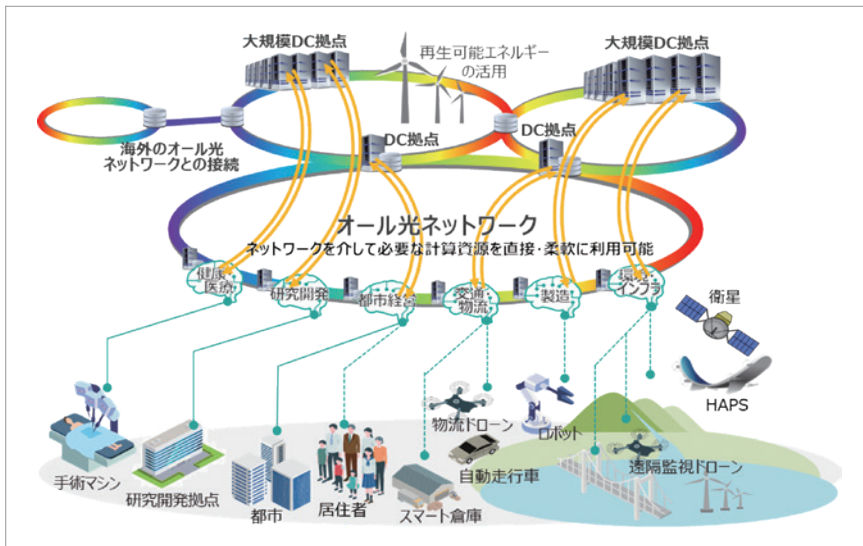
現在の部署には、行政官に加えて民間企業出身のエンジニアや専門家の方も多く在籍しており、一緒に働くことで幅広い知識やスキルを身につけられます。配属当初は専門的な内容や用語の理解に苦労しましたが、日々の業務を通じて着実に理解が深まっていることを実感しています。





情報通信技術でより良い社会に

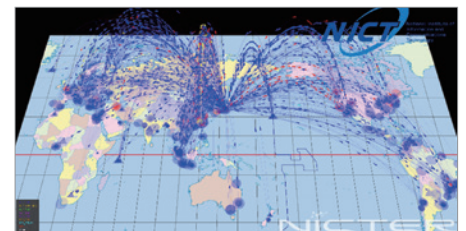
総務省は、我が国の成長分野のひとつである情報通信分野を所管し、通信・放送業界の監督のほか、サイバーセキュリティの確保や先端的な研究開発、ICTの利活用の推進などを行う「情報通信行政」を担っています。情報通信行政では、最先端の技術を踏まえた政策を企画立案していくことが求められ、理系のバックグラウンドが活きる行政分野です。情報通信分野は技術の進歩が速いため、新しい技術の発展を妨げないように取り組む一方で、利用者の保護や既存のシステムへの影響に配慮した対応が求められており、技術系職員が幅広く活躍している分野です。



AI社会を支えるデジタルインフラの整備・海外展開



世界無線通信会議 (WRC)



日本に対するサイバー攻撃の様子 (NICTによる観測)

もっと詳しく読む ▶



先輩職員に聞く

From senior to you

情報通信の当たり前を、 私たちが創る

2020年採用 総合職 (大卒) 農業科学・水産区分

濱口 智美

総務省 国際戦略局技術政策課課長補佐

国家公務員になろうと思ったきっかけ

地域の魅力と都会の豊かさ双方の良さを活かし、全国どこでも、格差のない住みやすい地域にするために、情報通信技術の必要性を感じており、理想の実現に貢献できるのが情報通信や行政に携わる国家公務員だと考えたからです。

仕事の面白み、やりがい

情報通信分野は、一世代前には夢物語であった技術が今や社会インフラの基盤を担うまでに発展するなど、目まぐるしい技術革新が続いています。それら最先端技術の振興・制度設計・国際標準化といった仕事を通じて、次世代の「当たり前」を創り、支えることができるのが、総務省の仕事の面白さの一つだと思います。





災害対策の司令塔

消防庁は、火災の予防や消火、救急、救助、防災など「国民の安心・安全」を担っています。

高齢化社会の到来や新エネルギーの出現、AI・IoTの活用など、社会の大きな流れの中で、誰もが安心して暮らすためには、合理的な安全対策が必要です。技術系職員は、消防防災の専門家としての現場の知見、研究者や技術者と議論するための理系の素養、そして関係者が納得できるように説明する行政官としての技量をもって、合理的な安全対策を実現します。

また、地域の消防力では対応できない大規模な地震や集中豪雨などの自然災害、大規模事故、テロなどの緊急事態の際には、被害の全貌を把握するとともに、全国的な見地から緊急消防援助隊を派遣して被害の抑制にあたるなど、オペレーション業務を担います。



地震などの大規模な災害が発生すると、消防庁内にある消防防災・危機管理センターに参集し、情報収集や緊急消防援助隊のオペレーションなどを行います。

もっと詳しく読む ▶



消防の現場で活躍する消防吏員、地域の防災を担う市町村・都道府県の職員、地方自治体や行政評価を専門とする総務省の職員など、様々な経歴を持つ職員の橋渡しの役割を担い、チーム力を高めます。



現場の意見を正確に理解した上で施策に反映させるため、入庁して数年で消防本部に出向し、現場活動や消防防災行政の基礎的な知識を身につけます。

先輩職員に聞く

From senior to you

「現場を変えたい!」という 思いを現実に

2022年採用 総合職(院卒) 工学区分

加藤 大地 消防庁 予防課設備係長(併) 法令係長

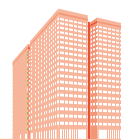
記憶に残っている業務

私は消防庁での在籍期間こそ短いですが、政府の中枢から自治体まで、様々な「現場」で事案対応を経験してきました。地震・台風・国民保護事案など、どんな事案も一つ一つが真剣勝負で、「あの時どのような状況であったか」「あの時自分はどう動いたか」などは、今でも鮮明に頭に残っています。

仕事の面白み、やりがい

「施策の企画立案」と「現場の運用」の両面に携わることができる点です。消防庁には消防本部等への出向機会があり、自らが立案した施策が現場でどのように社会実装されているか、現場の課題は何かを肌で感じることができ、出向先から戻った後はその経験を企画立案に還元できる点に、大きなやりがいを感じています。





施設を造る 未来を創る

法務省では、技術系職員（総合職・一般職）が、刑務所等の矯正施設や法務局、検察庁など、全国約800に及ぶ施設の整備を担っています。また、国際会議への参加など、専門性を生かして幅広く活躍しています。

矯正施設は、被収容者が日々の生活を送る場であると同時に、円滑な社会復帰に向けた矯正処遇を行う重要な施設です。

技術系職員は、セキュリティの確保に加え、教育や作業、医療など多様な機能を備えた施設となるよう、専門知識を生かして設計を行っています。

法務省は、矯正施設の整備を行う国内唯一の機関であり、明治時代からのノウハウを生かしつつも、BIMでの設計など新しい時代に即した施設整備を行っています。

法務省でしかできない施設整備があります。あなたの専門性で、安全・安心な社会の実現を支えてみませんか。



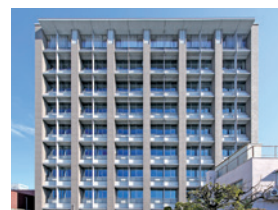
刑務所（喜連川社会復帰促進センター）



拘置所（東京拘置所）



少年院（沖縄少年院・沖縄女子学園）



総合庁舎（甲府法務総合庁舎）



工事監督（全国の工事現場にも行って工事調整を行います）



国際会議（アジア矯正建築会議）



3次元CADによる設計事例（BIM設計）



研修所（国連アジア極東犯罪防止研修所）

もっと詳しく読む ▶



先輩職員に聞く

From senior to you

専門性で法務行政の 安心と信頼の空間をつくる

2020年採用 一般職（大卒）建築区分

小瀬沢 奈々

法務省 大臣官房施設課
官署施設企画第一係

国家公務員になろうと思ったきっかけ

多くの人が「当たり前」に利用している公共施設や行政サービスを、技術分野で培った専門性を活かして支える仕事に魅力を感じました。

大学で培った分野の知識を基礎に、国全体に関わる施設整備に携われる点に惹かれ、国家公務員を志しました。

仕事の面白み、やりがい

技術職として検討を重ねた結果が「地図に残る仕事」として可視化されることに、大きなやりがいを感じます。また、事業の必要性や費用対効果、施設機能の適切性などを踏まえ、総合的な視点で整備方針を検討していく点にこの仕事ならではの魅力があります。





国際社会における日本を支える

激動する世界情勢のなか、世界各国で外交活動の拠点となるのが大使館や総領事館、政府代表部などの在外公館です。相手国にとって「日本の顔」とも言える在外公館施設の建築企画から竣工後のメンテナンスまで、建設プロジェクトの全てを担うプロデューサーとして、本省と在外公館との間でやりとりされる外交情報を24時間365日、安心、安全、確実に送受できるよう、より強固な情報通信システムの開発・管理を行い、巧妙化するサイバー攻撃から情報を守る専門家として、また、激変する国際情勢の中で、衛星画像をはじめとする画像情報を基に外務政策上の的確な判断を行う上で必要となる分析等を行う専門家として、技術系職員は我が国外交基盤の一端を担っています。



営繕技官が世界各国で建てた在外公館施設（大使館等）

もっと詳しく読む ▶



外交通信の中核を担っている大臣官房情報システム総括課



設計にかかる打ち合わせの様子



在外公館の通信担当業務（写真はフロアスイッチの確認作業）



日本政府専用機搭乗のための事前訓練

先輩職員に聞く

From senior to you

学び続けることが、国を守る力になる

2012年採用 一般職（大卒）電気・電子・情報区分

小杉 亮太

外務省 大臣官房情報システム総括課主査

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

電気電子工学を専攻し、研究室では電磁波について研究していました。粘り強く研究する姿勢を含めた学生時代に培った基礎知識は、実際の業務を通じてより実践的な応用力へと発展しており、日々成長を実感しています。

仕事の面白み、やりがい

情報通信分野の発展は日進月歩です。最新の技術や脅威情報を常に学び続ける環境は、飽きることがなく刺激的です。専門性を深めるたびに成長を実感でき、モチベーションを高く保てます。また自分自身が関与した業務が、国の情報セキュリティ対策強化に直結していると感じられることが、この仕事の最大のやりがいです。





国のゲートキーパー

税関では「安全・安心な社会の実現」「適正かつ公平な関税等の徴収」「貿易円滑化の推進」の3つの使命を掲げています。

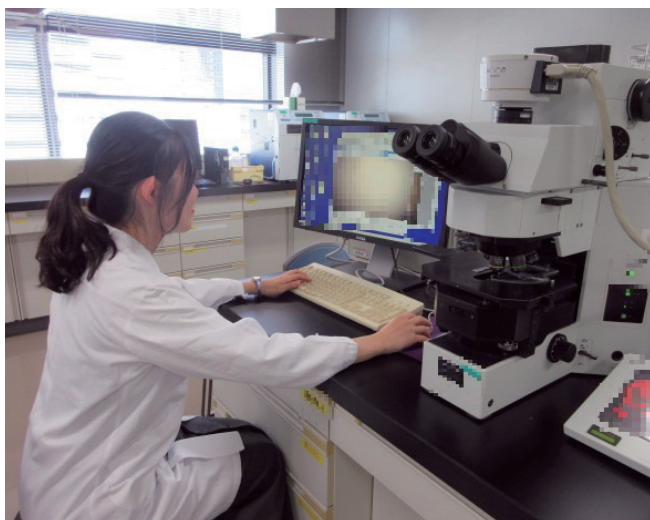
その全ての使命に技術系職員が活躍しています。

あらゆる手段を講じて密輸入される不正薬物等を判定する成分の分析。

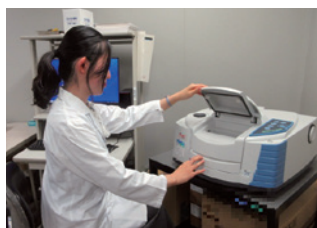
動植物の生物分類別や機械部品の素材や用途別により税率が変化する輸入品に課される関税を適切に徴収するために行われる品目分類。

輸出入の申告や入出港に関する申請をオンラインで処理する情報処理システムの管理。

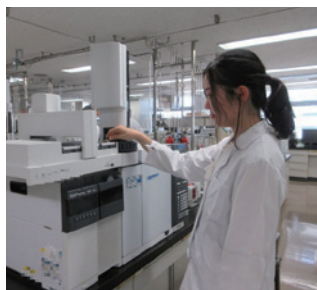
これら以外にも様々な専門性を有する技術系の職員にとって、税関は知識や技術が活かせる職場が多くあります。



輸入貨物の成分分析



赤外分光計



ガスクロマトグラフ質量分析



核磁気共鳴分光装置

もっと詳しく読む ▶



先輩職員に聞く

From senior to you

技術をより適切な形で活用するために

2023年採用 総合職(大卒) 化学・生物・薬学区分

堀川 武志

財務省 名古屋税関業務部
統括審査官(通関第3部門担当) 付監視官

国家公務員になろうと思ったきっかけ

元々「国家公務員は文系の職種」というイメージを持っていましたが、テレビ番組から技術系総合職の存在を知りました。日本の長所でもある治安を守る仕事と、理系としての知識を活かす仕事で迷っていましたが、このどちらにも合致する職場があったため国家公務員を希望しました。

仕事の面白み、やりがい

どのような技術が存在し、その技術にどのような特徴があるのかを把握しなければ、適切に業務で利用することはできません。こういった点で理系学生として得た経験が大いに役に立ちますし、やりがいを感じています。世界的にも先端技術を積極的に導入しようとする動きがあり、国内担当、海外担当問わず経験を活かせる機会は多いと考えています。





税務行政と酒類業を技術で支える

国税庁の技術系職員は、「鑑定官」と呼ばれ、課税物件である酒類・揮発油類の分析・鑑定を通して適正かつ公平な国税の賦課の実現のため活躍しています。また、酒類製造者への技術的な指導や相談等の酒造技術の向上のための取組、酒類の安全性確保に関する取組を実施しています。

その他、酒類産業振興のため、技術的な知見を活用し、国内産酒類の輸出促進に向けた取組等を行っています。

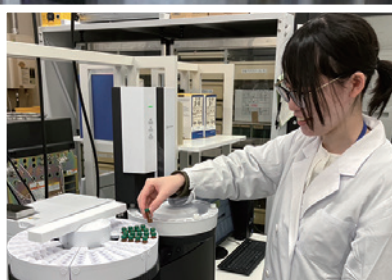
鑑定官は、以上のミッションを遂行するため、酒類・ガソリンについて技術的な知見を持つスペシャリストとして活躍しています。



酒類製造者に対する技術相談



鑑評会の開催



課税物件である酒類のアルコール分析



コーデックス委員会への参加

もっと詳しく読む ▶



先輩職員に聞く

From senior to you

酒類業界を支える科学の知

2017年採用 総合職（院卒）工学区分

五明 美香子

国税庁 東京国税局鑑定指導室

国家公務員になろうと思ったきっかけ

博士課程に在籍していたため研究職に進む予定でしたが、理系の知識を活かしつつ、酒類製造者と直接言葉を交わしながら業界を支援することのできる国税庁技術系職員ならではの業務内容に魅力を感じ、志望しました。

記憶に残っている業務

コロナ禍において、予定された出荷が困難となり意図せず長期貯蔵となったお酒に、食品安全上懸念となる物質が生成されていないか、全国の酒類製造者の希望に応じて分析しました。過去に例のない突発的な業務でしたが、迅速に分析を行って結果を酒類製造者にお返しすることができ、酒類製造者の安心に寄与できたと思います。





未来づくりのプロフェッショナル

文部科学省では、事務系・技術系を問わず、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化といった広範な分野の業務を扱います。中でも技術系職員が中心となる科学技術・学術分野では、多様な学術・基礎研究への支援や、そこから生まれた成果の社会実装に向けた取組、国単位の大きなプロジェクトの推進に加えて、これらを支える人材の育成や産学の組織的連携、国際連携等の横ぐしの政策立案を行います。

日進月歩の科学技術・学術が生み出す社会変革やイノベーションは、我々の生活を豊かにするとともに、ときにリスクを生み出すこともあります。文部科学省の技術系職員には、こうした最先端の研究開発や社会動向へのアンテナを高く保ちつつ、予算・法令・税制等のツールを総動員しながら、深い洞察と課題解決力によって豊かな国づくりに向けた政策を立案する役割が求められています。



3GeV高輝度放射光施設 NanoTerasu



H3ロケット試験機2号機の打上げ (©JAXA)



スーパーコンピュータ「富岳」 (©理化学研究所)



実大三次元震動破壊実験施設「E-ディフェンス」での10層オフィスビル建物の震動台実験 (提供：防災科学技術研究所)

もっと詳しく読む ▶



先輩職員に聞く

From senior to you

今日の仕事が、未来の日本に

2021年採用 一般職(大卒) 化学区分

溝口 颯乃

文部科学省 大臣官房政策課広報室

記憶に残っている業務

10年前に採択された課題の視察に行った際、住民の方が「このプロジェクトが、自分の生活を見直すきっかけになった」と仰っていたことが印象に残っています。先輩方が10年前に取り組んでいた事業が、採択から10年経った今、国民の生活を変えていることを目の当たりにし、「現在自分たちが行っている仕事が未来の国民生活を変えるかもしれない」ということを強く実感しました。

仕事の面白み、やりがい

分野を問わず幅広い経験ができることも、文部科学省ならではの良さだと思います。これまでの業務で携わった分野は、大学時代に専攻していたバイオテクノロジー分野だけでなく、半導体、量子、宇宙航空、モビリティ、アート等、多岐にわたります。様々な分野における最先端の知識を常に学びながら働けることが楽しく、日々やりがいを感じています。





かけがえない生活の「要」－当たり前の日常を守る－

厚生労働省総合職技術系には薬系、数理・デジタル系、技術系、人間科学系の4種類の区分があります。

そのうち、薬系技官は化学やライフサイエンスにおける専門性に基づき、主に医薬品関係の政策の企画立案や実施、科学的な評価を担当しています。薬事規制では品質、有効性、安全性などの評価方法の国際調和・整合が進められており、国際会議において日本の規制当局の立場から発信し、議論に参画する業務もあります。

また、生活に身近な医療の面では、地域において薬局や薬剤師の役割が一層重視される中、認定薬局の推進や薬剤師の資質向上といった施策に携わり、国民が安心して医療を受けられる体制の機能強化に取り組んでいます。国内外で課題解決を目指し、専門性をもって幅広い政策に関わることができるのは、薬系技官の魅力です。



薬と健康の週間



電子版お薬手帳



国内で開催された国際会議の様子



ICHシンガポール集合写真

もっと詳しく読む ▶



先輩職員に聞く

From senior to you

エビデンスを基に制度を設計する

2019年採用 総合職(院卒) 化学・生物・薬学区分

末永 朝美

厚生労働省 医薬局総務課
薬局・販売制度企画室・薬剤業務指導官

国家公務員になろうと思ったきっかけ

医薬品の薬価算定方式に関する大学の講義や病院実習での副作用対策に係る対応などを通じて、新薬の特性を適正に算定したり、病棟業務における薬剤師の職能を正に評価したりする薬系技官の業務に興味を持ったことがきっかけです。

仕事の面白み、やりがい

施策を形にするまでには、業界団体へのヒアリング、厚生労働科学研究等を活用したデータ収集、ヒアリングやデータ等に基づく施策立案、さらには法令改正やその運用に関する通知の作成等、様々なプロセスがあります。

こうした一連のプロセスに関わりながら、「現場の声」と「データ」を基に制度を設計する経験ができる点が魅力です。





食と生命の守護神

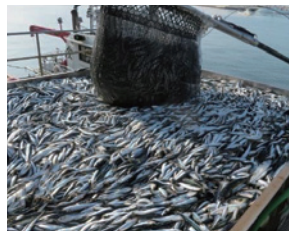
日本の食料・農林水産業は、自然災害の頻発や地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化、生産・消費の変化など、様々な課題に直面しています。将来にわたって食料の安定供給を図り、生産力向上と持続性の両立を実現するには、イノベーションといった、より科学的な手法が欠かせません。具体的には、収量増加や品質向上に帰するバイオテクノロジーや、省力化を可能にするAI・IoT・ロボット技術を活用したスマート農林水産業などの開発・実装が急務となっており、農林水産省では多様なバックグラウンドを持つ技術系職員が、自身の専門的な知識・能力を活かしながら、現場の課題を踏まえた政策の企画・立案・実行など広い範囲で活躍しています。



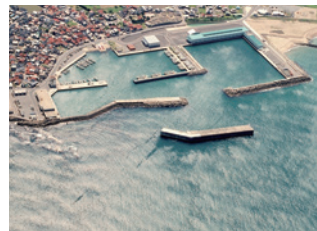
基盤整備により大区画化されたほ場（茨城中部地区）



ドローンによる農薬散布



漁獲物の水揚げ風景



水産業の拠点となる漁港の整備



締切堤防の耐震化対策工事
（児島湾沿岸地区）

もっと詳しく読む ▶



先輩職員に聞く

From senior to you

理系の知識を活かして、 課題解決の方法を一緒に考えましょう！

2021年採用 総合職（大卒）農業科学・水産区分

窪田 隆一

農林水産省 農産局穀物課
稲生産班稲生産第1係長

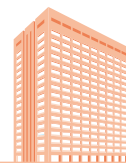
記憶に残っている業務

以前の部署で、ロボットやAI、IoTを活用して生産性を向上させる「スマート農業」を推進するための新しい協議会の立ち上げ準備を行ったことが記憶に残っています。具体的な内容を考えることに加え、会場の設置といった物理的な対応も含めて準備は大変でしたが、会合には、1,000名を超える方に参画いただき、会の終了後もたくさんの方が会場に残って、意見交換を行っていたのが印象的でした。

仕事の面白み、やりがい

国家公務員の仕事は、大規模な事業や全国的な施策に携わることができることや、多様な関係者と関わることができるのが魅力だと思っています。立場の異なる方々からの意見や要望を聞く機会が多くあり、多角的な視点から、農林水産業の実情を見ることができるのが面白いと感じています。





日本経済の牽引役

経済産業省は、「未来に誇れる日本をつくる」をミッションの下、国内外の情勢の変化を捉え、この世界と国を良くするための本質的な課題を追求し、政策を企画・立案・実行している組織ですが、実は採用数の約4割が技術系職員です。取り組む課題は、エネルギー・環境からモビリティ、AI・IoT、バイオ・ヘルスケア、産業保安など、経済に関わる全ての産業分野にまたがりますが、分野に限らず、産業の競争力を規定する大きな要素として技術・イノベーションがあり、それらが社会に実装されることで、私たちの暮らしはより豊かになっていきます。

経済産業省の技術系職員は、技術と社会を繋げる人材、技術も行政も操れる人材として、理系としての専門性や理系的思考を活かしながら、日本の産業・人々の暮らしを豊かにする「仕組みづくり」に日々活躍・挑戦しています。



再生可能エネルギー導入拡大に向けた企画・立案・調整

もっと詳しく読む ▶



半導体業界で「伝説のエンジニア」と称される、ジム・ケラー氏との意見交換



産業保安監督部における発電所、鉱山等の保安業務

先輩職員に聞く

From senior to you

できない理由ではなく、 できる理由を一つでも考える

2022年採用 総合職（大卒）農業農村工学区分

鈴木 翔

経済産業省 大臣官房総務課総括係長

記憶に残っている業務

アナログ規制の一括見直し、デジタルライフライン全国総合整備計画、ウラノス・エコシステム等のデジタル政策に多く携わったほか、若手有志による食文化産業振興にも関わっています。前例踏襲ではなく、あるべき姿から政策課題を特定し、政策の立案から執行までを行う、経産省ならではの政策立案の最前線に関わっており、若手ながらにして裁量も持たせていただいています。

仕事の面白み、やりがい

自らが関わった予算や認定制度が新聞の一面を飾ったり、テレビ番組等で報道された時や、ゼロから素案を書き、関係各所との様々な調整を経た文章を大臣に演説いただいた時など、社会にインパクトを与えられている瞬間にやりがいを感じます。特に、現在の所属は大臣や幹部に近い立場であり、省としての意思決定が間近に行われ、私もその一部を担っていることにも面白味と責任を感じます。





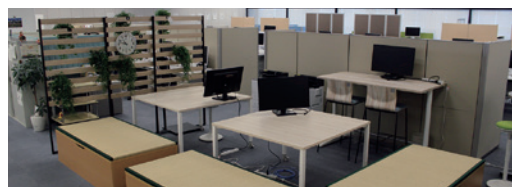
「知的財産」の守り人

特許庁の技術系職員は、審査官・審判官として特許の審査・審判業務に従事するとともに、特許制度を取り巻く様々な業務に携わり、日本の技術開発を支えています。審査・審判業務では、国内外から出願された発明の理解、従来技術の調査、特許性の判断等、各プロセスにおいて理系の専門知識を最大限に活用します。入庁後は、業務や学会への参加、海外留学等の機会を通じて技術と法律の専門知識をさらに深めていくことができます。

また、審査で身に付けた知識や経験を強みとして、法律改正や国内外の知財政策の立案、中小企業・大学・スタートアップへの支援など多様な分野で活躍の場があり、イノベーションの推進、日本の産業発展に貢献しています。



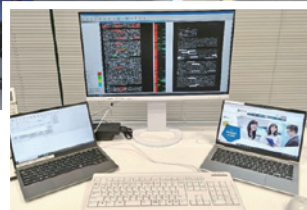
審査室の風景



協議を行うためのスペース



口頭審理を行う審判廷



審査官の執務環境



国際会議などが行われる特別会議室

もっと詳しく読む ▶



先輩職員に聞く

From senior to you

技術と法律・行政が重なり合う場所

2022年採用 総合職(院卒) 工学区分

酒井 大門

特許庁 審査第四部情報処理審査官

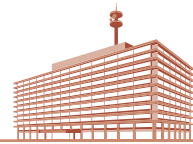
記憶に残っている業務

東南アジアの知財庁へ赴き、日本の特許審査実務や情報セキュリティ分野の新興技術をレクチャーする業務を行ったことが一番記憶に残っています。日本国特許庁の代表として海外の方と交流する機会は、責任がありつつも達成感も大きかったです。

仕事の面白み、やりがい

様々な技術に触れられることが特許審査業務の一番の面白みだと思います。業務を継続していく中で、その分野における技術の変遷や注目技術が見えてきたり、自分自身がその分野に詳しくなっていくことを実感したりすることができます。





豊かな暮らしと経済の実現

国民の命と暮らしを守ることが使命である国土交通省は、社会資本整備の推進、社会資本の老朽化対策、交通政策の推進、地域活性化の推進など、多岐にわたる施策に取り組んでいます。

特に、気候変動に伴い激甚化・頻発化する気象災害や、切迫する南海トラフ地震などの大規模地震から、国民の命と暮らしを守り、国家・社会の重要な機能を維持するため、防災・減災、国土強靱化の取組を切れ目なく推進する必要があるところ、技術系職員がそれぞれの専門性を活かして、より効果的で実効性のある施策立案・判断・業務遂行等に貢献しており、本省における施策立案・制度設計、現場における計画・設計・施工・管理・運営等、幅広いフィールドで活躍しています。



インフラの海外展開に向けた南アフリカ関係省庁との会談の様子

もっと詳しく読む ▶



インフラ分野におけるDXの推進(例：荒川デジタル管内図)
引用：荒川下流河川事務所HP



埼玉県八潮市で発生した道路陥没に伴う緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)活動の様子



流域治水の加速化・深化(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための堤防拡幅)

先輩職員に聞く

From senior to you

国民生活を支える 鉄道の施設の強靱化

2011年採用 I種(院卒) 物理区分

田中 佑輔

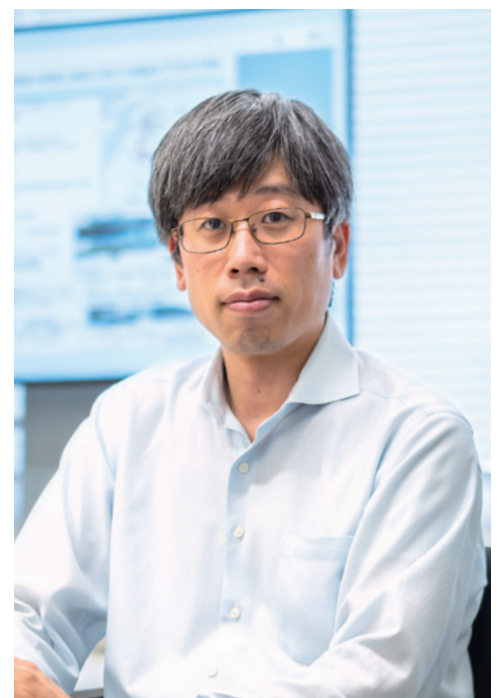
国土交通省 鉄道局施設課課長補佐(総括)

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は理学部で低温物理の実験研究をしていました。論理的に物事を考え、それを言葉にする力はあらゆる場面で役に立っています。鉄道は土木、電気といった様々な工学技術によって成り立っていますが、物理の知識はそれらの理解に役立っています。

仕事の面白み、やりがい

鉄道は人々の生活に欠かせないものであり、その防災、減災、国土強靱化に携わることができます。自分の工夫や頑張り、関係者との協力次第で、世の中のために貢献することが一つ一つ実現できることにやりがいを感じています。





科学技術を駆使する防災のプロ

気象庁は、自然現象を常に監視・予測し、利用目的に応じた的確な気象情報を作成・提供することで、自然災害の軽減、国民生活の向上、交通安全の確保、産業の発展などに貢献しています。その使命を果たすためには、常に最新の科学技術を駆使し、気象情報の作成などに必要な技術基盤を確立・向上させることが不可欠です。このように、技術系職員の活躍の場は多岐にわたっており、実際に働いている職員の約9割を技術系職員が占めています。幅広い業務に携われるため、専門性を極めることも、さまざまな分野を経験することもできます。キャリアを進めながら、自分が活躍できる場を探していける点も、気象庁で働く魅力の一つです。



赤道上空約35,800kmで大気の状態を観測 気象衛星ひまわり



災害が発生した際に地方公共団体等に直接解説を実施
気象庁 防災対策支援チーム

もっと詳しく読む ▶



航海中の海洋気象観測船 凌風丸



数値予報モデルによる気象予測の計算を実施する
スーパーコンピュータ

先輩職員に聞く

From senior to you

災害の最前線で、 国民の命と暮らしを守る

2018年採用 総合職(院卒) 数理科学・物理・地球科学区分

岡 岳宏

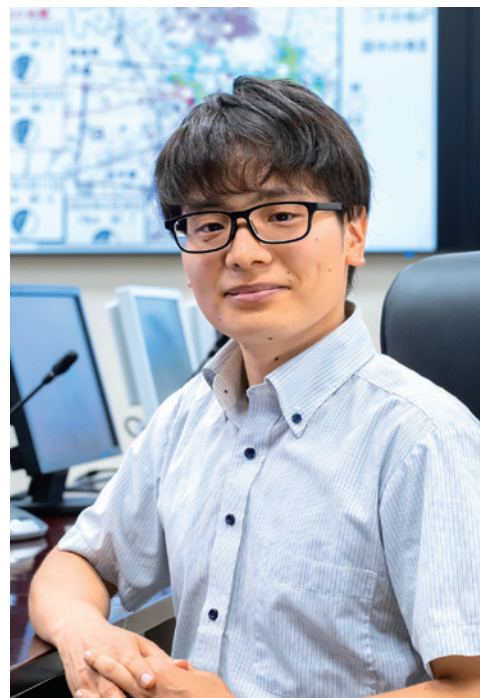
気象庁 地震火山部管理課
地震調査連絡係長

記憶に残っている業務

2024年1月1日に発生した能登半島地震での対応が特に記憶に残っています。元日の緊急参集という極めて緊迫した状況でしたが、微力ながら危機対応に貢献することができました。まさに「災害発生時に国民のために働く」という私が国家公務員を志望した初心を現場で体現できたという意味で、最も心に刻まれている経験です。

仕事の面白み、やりがい

地震に関わる政策の企画立案に関する調整や国会対応、国際案件といった幅広い業務に加え、一刻を争う自然災害の緊急対応にも最前線で関われる点に大きなやりがいを感じています。さらに、地震調査委員会等を通じて最新の地震調査研究に常に触れることができ、サイエンスとしての奥深さや面白さを日々実感できるのも魅力に感じています。





日本の海の守護神

海上保安庁では、日本の海の安全と治安を守るため様々な業務を行っており、総務部情報通信課、総務部サイバーセキュリティ戦略官、海洋情報部、交通部等において、理系の知識を有する技術系職員が活躍しています。

総務部情報通信課は、指揮命令の伝達や情報共有、映像伝送、業務支援等のために、本庁と全国の管区海上保安本部、海上保安部等から巡視船艇、航空機等まで網羅する海上保安庁独自の情報通信システムを構築、運用しています。

総務部サイバーセキュリティ戦略官は、高度化・巧妙化するサイバーセキュリティ上の脅威に対応するため、専門的な知識・技術を有した職員を配置し、情報システムの常時監視、インシデント対応、調査研究等を行っています。

海洋情報部は、航海安全や海洋権益確保などの観点から海洋の科学的調査を行い、「海図」や「海しる」を通して、得られた海洋情報を提供しています。

交通部は、海上交通の安全確保と運航能率の増進を図るため、船舶への情報提供、マリナーズを楽しめる方への安全啓発、灯台をはじめとする航路標識の整備や運用等を実施しています。



大瀬崎灯台（長崎県五島市）

もっと詳しく読む ▶



海上交通センターにおける情報提供



サイバーインシデント対応



測量船「光洋」



測量機「あおばずく」



システム運用管理

先輩職員に聞く

From senior to you

技術力を活かして、 海の安心・安全を守る

2020年採用 総合職（大卒）工学区分

吉平 早壱

海上保安庁 交通部企画課国際室
国際協力係長

記憶に残っている業務

入庁2年目に、「航路標識協力団体制度」の立ち上げに携わったことが印象に残っています。本制度は、自治体や民間団体を航路標識協力団体として指定し、灯台の維持管理等を支援するものとなります。制度の創設にあたっては、関係者との調整や規則改正に奔走しましたが、無事に立ち上げが完了した際には、大きな達成感を得ました。

日々の仕事

現在は、海上交通に関する国際協力業務に従事しています。ASEAN諸国と連携し、同地域の海域において船舶が安全に航行できるよう、各国のVTS（船舶通航サービス）管制官の育成を支援するなどしています。日々、業務が円滑に進むよう、会議資料の作成や外国政府機関・大使館との調整を行っています。





地球と人類の未来の守り人

環境省は、世界を舞台にした国際交渉から、国内で現場に寄り添う仕事まで様々な場面で活躍し、「環境」を軸にして仕事ができる唯一の省です。スペシャリストとゼネラリストとの両視点からあらゆる分野で活躍し、世の中の制度づくりに携わることができます。環境政策は科学的知見を重視することから、技術系職員の役割が大きく、「理工系採用職員」は、気候変動対策、循環型社会の構築、水大気環境保全、化学物質対策等、「自然系採用職員」は、生物多様性の保全、国立公園の保護管理、希少種の保全や野生鳥獣の保護管理、施設整備、動物愛護管理等の分野で活躍しています。



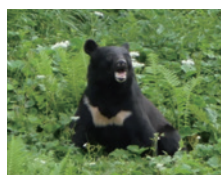
自然共生サイトの認定事例（盛岡セイコー工業 わくわくの森・わくわくトープ／岩手県）



国連気候変動枠組条約第30回締約国会議（COP30）ブラジル（ペレン）



知床連山より知床岳を望む（知床国立公園）



ツキノワグマ
（十和田八幡平国立公園）



動物収容譲渡施設整備に向けた調整



環境創造室事業 里海づくりの取組
（一般社団法人ふくおかFUN／福岡県福岡市）

もっと詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you

あらゆる科学的知識が活きる職場

2018年採用 総合職（院卒）工学区分

豊原 悠作

環境省
水・大気環境局海洋環境課

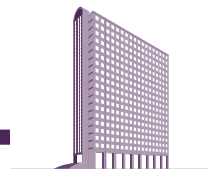
学生時代の専攻と現在の仕事との関係

大学と院では未利用材を活用した放射性セシウムの吸着剤の開発を行いました。環境省では放射性物質に汚染されたものを扱う部署がいくつかあり、放射能に関する背景知識や化学的な考え方は、業務の深い理解に役立ちました。現在の仕事においても、有害液体物質の船舶輸送の規制を行う業務で基本的知識が役立っています。

仕事の面白み、やりがい

環境政策は様々な分野の科学的知識が求められます。しかし直接的に学んだことが無い分野でも、共通する部分があったり、理解を深める中で思わぬ繋がりに気づいたりすることもあります。そういった理解の下で、制度の受け手の痒い所に手が届くような政策を考えることこそ、技術系官僚の醍醐味だと思います。





世界最高水準を目指す確かな規制

原子力規制委員会は、「人と環境を守る」ことを使命とし、原子力発電所等の安全規制をはじめ、放射線の監視や原子力災害対策、放射線防護に関する企画立案や核不拡散に関する取組など、幅広い役割を担っています。

あらゆる分野の技術が集まって成り立つ原子力施設等を相手に、世界最高水準の安全を目指し、これらの役割を果たすためには、様々な分野の科学的・技術的知見が必要となります。

そのため、原子力規制庁には全ての区分の技術系職員（全職員の8割が技術系）が活躍できるフィールドがあり、東京での本庁勤務のほか、原子力施設の所在する地域の規制事務所や国際機関等において、常に最新の知見に学び、高い倫理観、使命感、誇りを持ちながら、職務にあたっています。



原子力施設の審査・検査

もっと詳しく読む ▶



安全研究



国際業務



研修制度

放射線防護・原子力防災

先輩職員に聞く

From senior to you

最新の科学技術に立脚した 規制制度の構築

2017年採用 総合職（大卒）工学区分

大森 敬之

原子力規制庁 原子力規制部
検査監督総括課課長補佐（制度担当）

国家公務員になろうと思ったきっかけ

大学1年生の時に福島県で除染ボランティアに参加し、原子力・放射線に関心を持ちました。就活では最後まで悩みましたが、「原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守る」という原子力規制庁の使命に共感したことが、入庁の決め手となりました。

仕事の面白み、やりがい

原子力規制は日進月歩の総合科学であり、日々新しい用語や概念に出会い学びを更新しながら、その成果を社会に還元することが求められます。これは容易でない一方で、知的刺激に富み原子力規制庁の業務の醍醐味だと思います。

また、若手でも国際会合や国際機関への派遣等を通じて世界の最前線の知見を吸収することができる機会が多くあります。





不変の使命 無限の可能性

防衛省には、我が国の平和と独立を守り、国民の命と平和な暮らしを守り抜くために、技術系職員が理系の専門性を活かせる場があります！
 総合職としては、防衛省本省では行政職施設系・行政職装備系、防衛装備庁では研究職研究開発系、陸海空各幕僚監部では研究職能力分析系、情報本部では研究職情報系という5つの職種がそれぞれのフィールドで技術的知見を活かしながら活躍しています。
 また、地方防衛局や統合幕僚監部、陸海空自衛隊の各部隊等では一般職職員がそれぞれ活躍しています。
 総合職（行政職施設系）は自衛隊の活動基盤である駐屯地・基地等の防衛施設に関する政策の企画立案や整備を担い、
 総合職（行政職装備系）は自衛隊の能力発揮の根幹である防衛装備品に関する政策の企画立案や調達実務を担い、
 総合職（研究職研究開発系）は装備品の研究開発業務を担っています。
 一般職職員は技術のプロフェッショナルとして装備品の点検・整備、防衛施設の設計・監督、サイバーセキュリティ業務等を担っています。



土木・建築・機械・電気等の専門性を活かし、
防衛政策を具現化する



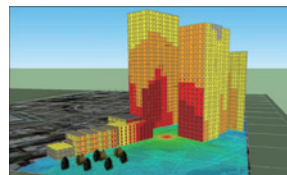
装備品の取得や防衛装備移転の
推進等を実施



日英伊3か国による共同開発中の
次期戦闘機（画像はイメージです）



戦略的な「装備政策」を展開し、日本と世界に貢献する



ビル群における爆発に対する脆弱
性評価シミュレーション

もっと詳しく読む ▶



先輩職員に聞く

From senior to you

防衛力の強化を 装備の面から推進する

2022年採用 総合職（院卒）工学区分

山内 光一

防衛装備庁 調達管理部調達企画課
企画調整専門官

記憶に残っている業務

装備政策課で経験した防衛生産基盤強化法の制定が特に印象に残っています。主に国会審議の総合調整を担当し、忙しくも貴重な経験ができました。制定後企業への説明会を開催し、多くの企業に参加いただきました。自分が関わった政策が高い関心を得ていることを実感し、行政官の仕事のスケールの大きさを強く印象づけられました。

仕事の面白み、やりがい

近年の国際情勢の変化で安全保障の重要性が増す中、防衛計画・装備政策・調達といった唯一無二の職務に携われる点が面白みです。また、現職においては、装備品の調達件数が増え効率性が求められ、従来のやり方では課題もある中、新しい取組を検討するのは大変ですが、その分やりがいを感じます。



総合職試験採用職員

(令和8年4月現在)

初任給	<院卒者試験採用>317,520円 ^{※1} <大卒程度試験採用>301,200円 ^{※1}
諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、単身赴任手当、超過勤務手当など
昇給	原則年1回
賞与(ボーナス)	期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の4.65月分 ^{※2} (6月、12月に支給)
年間給与	<院卒者試験採用>約520万円 ^{※1,3} <大卒程度試験採用> 約490万円 ^{※1,3}
勤務時間	1日7時間45分 ^{※4}
休暇等	年次休暇20日 ^{※5} 残日数は20日を限度として翌年に繰越し その他、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)、介護休暇等
休日	土・日、祝日等・年末年始(12月29日～1月3日) ^{※4}

- ※1 令和8年人事院勧告反映前の額です。本府省勤務の場合(院卒者:行政職俸給表(一)2級11号俸、大卒程度:行政職俸給表(一)2級1号俸)。本府省業務調整手当及び地域手当を含みます。
- ※2 令和8年人事院勧告反映前の平均の支給月数です。勤勉手当は勤務成績に応じて支給され、成績優秀者にはより多い支給月数分が支給されます。
- ※3 住居手当、通勤手当、超過勤務手当等を含まず、賞与(ボーナス)は成績区分が標準的なケースで1年間に在職した場合です。
- ※4 職務の必要等に応じて異なる場合があります。
- ※5 4月1日採用の場合、採用年は15日となります。

一般職試験採用職員

(令和8年4月現在)

初任給	<大卒程度試験採用>287,600円 ^{※1}
諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、単身赴任手当、超過勤務手当など
昇給	原則年1回
賞与(ボーナス)	期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の4.65月分 ^{※2} (6月、12月に支給)
年間給与	<大卒程度試験採用>約470万円 ^{※1,3}
勤務時間	1日7時間45分 ^{※4}
休暇等	年次休暇20日 ^{※5} 残日数は20日を限度として翌年に繰越し その他、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)、介護休暇等
休日	土・日、祝日等・年末年始(12月29日～1月3日) ^{※4}

- ※1 令和8年人事院勧告反映前の額です。本府省勤務の場合(行政職俸給表(一)1級25号俸)。本府省業務調整手当及び地域手当を含みます。
- ※2 令和8年人事院勧告反映前の平均の支給月数です。勤勉手当は勤務成績に応じて支給され、成績優秀者にはより多い支給月数分が支給されます。
- ※3 住居手当、通勤手当、超過勤務手当等を含まず、賞与(ボーナス)は成績区分が標準的なケースで1年間に在職した場合です。
- ※4 職務の必要等に応じて異なる場合があります。
- ※5 4月1日採用の場合、採用年は15日となります。

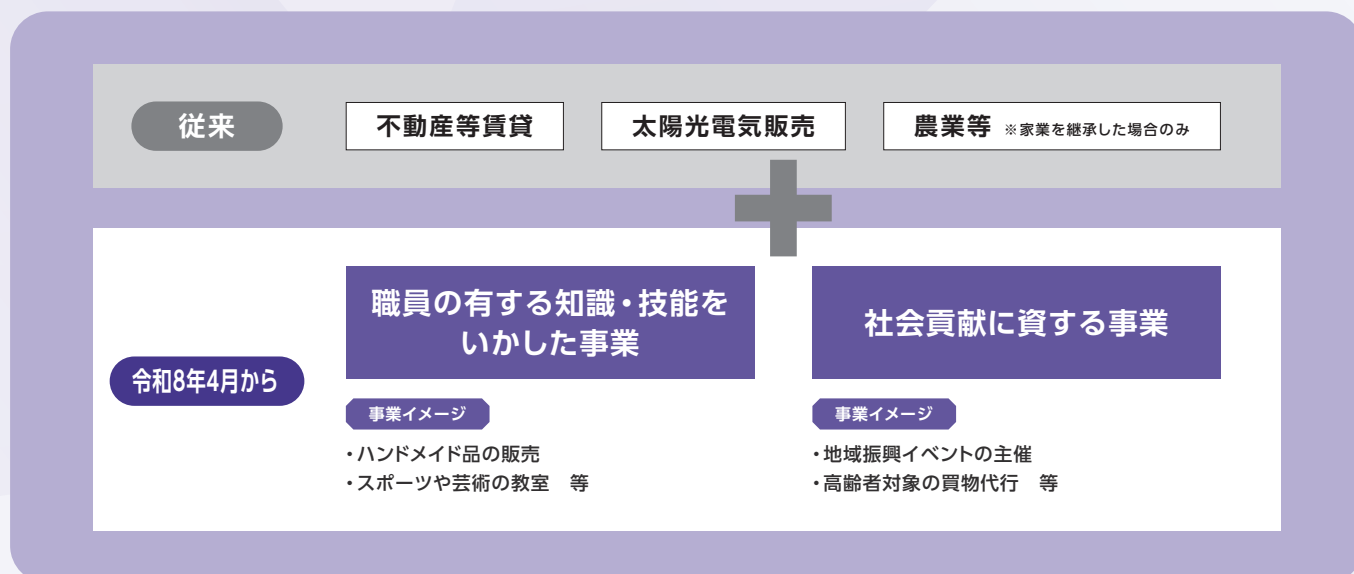
兼業

詳しくはこちら ▶



■ 自営兼業制度の見直し

- 令和8年4月から、職員の自己実現や社会課題の解決につながるような自営兼業について、承認を可能としました。



研修と多様な勤務経験

国家公務員には、研修や他機関への出向等の多様な育成機会が設けられており、本人の希望や適正も考慮のうえ、その機会が付与されます。

人事院では、各役職段階において求められる資質・能力を伸ばすことができるよう、採用時から幹部級まで、さまざまな研修を実施しています。また、若手職員などに対するキャリア形成支援の取組も行っています。

さらに、留学や出向等を通じて多様な勤務経験を積むことができます。

人事院が実施する
各種研修の詳細はこちら



官民人事交流

国家公務員には、国の機関と民間企業との間の人事交流を通じて、人材の育成、組織運営の活性化等を図ることを目的とした「官民人事交流制度」があります。

国家公務員のまま民間企業等で働くことができます(制度ができた平成12年から令和7年末までの間に、延べ861人が民間企業等に交流派遣されています。)

技術者の視点×官と民の現場力=次の社会をつくる

交流派遣を経験した職員の成長実感!!

出身府省の
理解が深まる、
見え方が変わる

民間企業の
ノウハウ、業務手法を
体得できる

自ら考え、
行動する能力、
情報収集能力が
向上する

技術系採用職員の交流派遣先実例

全日本空輸株式会社
株式会社サイバーディフェンス研究所
キリンホールディングス株式会社
富士通株式会社
株式会社三菱総合研究所
東日本旅客鉄道株式会社

他にも様々な民間企業等(地方含む)へ
交流派遣されています。

「交流派遣経験者のショート動画」
はこちらから！



国内外の大学院や諸外国の政府機関等への派遣

行政の国際化の進展、複雑・高度化に対応し得る人材を育成するため、人事院や各府省による国内外の大学院や諸外国の政府機関等への派遣制度が設けられています。こうした制度を利用して、技術系職種に採用された職員が国内外に派遣される機会も開かれています。

▶ 行政官長期在外研究員制度

人事院の選抜審査及び大学院の選考に合格した若手職員が、外国の大学院(修士課程又は博士課程)に留学できる制度です。

令和7年度の国(地域)別留学者数(名)

アメリカ	イギリス	フランス	オーストラリア	オランダ	ドイツ	シンガポール	カナダ	台湾
72	50	5	4	4	2	1	1	1

今までの主な留学先大学

アメリカ	マサチューセッツ工科大学、プリンストン大学、ハーバード大学、スタンフォード大学、コロンビア大学など
イギリス	オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、ロンドン大学(UCL、LSE)、エディンバラ大学など
フランス	ボルドー大学、トゥールーズ大学、パリ政治学院、リール大学など
ドイツ	ミュンヘン工科大学、ハイデルベルグ大学、フンボルト大学、フライブルク大学など

令和7年度の
新規留学者数

140名

※総合職・一般職などを含めた留学者数の合計

▶ 行政官短期在外研究員制度

人事院の選抜審査に合格した職員が、外国の政府機関等で、調査研究できる制度です。

令和7年度の国(地域)別派遣者数(名)

アメリカ	イギリス	フランス	シンガポール	オーストラリア	イタリア	スウェーデン	ドイツ	台湾	計
10	3	2	2	1	1	1	1	1	22

▶ 行政官国内研究員制度

人事院の選抜審査及び大学院の選考に合格した職員が、国内の大学院(修士課程又は博士課程)で研究できる制度です。

主な派遣先大学

筑波大学大学院、政策研究大学院大学、東京大学大学院、一橋大学大学院など

※令和8年度の新規派遣者数19名

試験から採用までの流れ

総合職試験



1.「合格」＝「採用」ではありません。

総合職試験に合格すると採用候補者名簿に記載されます。試験合格後には、志望する府省の採用選考を受け(官庁訪問)、名簿の有効期間中に採用される必要があります。

2.各種試験と採用時期の組み合わせ

総合職試験には、実施時期に応じて、春試験と秋試験(大卒程度「教養区分」のみ実施)の2種類があります。

また、採用候補者名簿の有効期間は、2023年度の試験より、最終合格発表日から5年間^(注)です。例えば、大学4年生で総合職春試験に合格し、大学院の修士課程を修了した方又は民間企業などで3年程度勤務した方でも、再度試験を受験することなく、各府省の官庁訪問を経て採用されることが可能です。

(注) 大卒程度「教養区分」の採用候補者名簿の有効期間は、2023年度から2025年度までの試験合格者については6年半、2026年度以降の試験合格者については7年です。

一般職試験



●「合格」＝「採用」ではありません。

一般職試験(大卒程度試験)に合格すると採用候補者名簿(有効期間は5年間、教養区分のみ6年間)に記載されます。試験合格後には、志望する府省の採用選考を受け(官庁訪問)、名簿の有効期間中に採用される必要があります。

■ デジタル分野の専門性を持つ皆さんへ

情報通信技術を活用するデジタル社会の実現に向けて、情報系の専門的な素養を持つ人材が必要となっています。

公務の中で情報系の知識を持って、政策の企画立案に参画等する人材を募集しています。

上述の総合職試験、一般職試験の中にはデジタルに特化した区分があるほか、特定の資格を有していれば試験以外の方法でも採用される機会があります。

詳しくはこちら ▶



官庁訪問

- 国家公務員採用試験の最終合格=採用ではありません。志望する府省に採用されるためには必ず官庁訪問に参加し、志望府省から内々定・内定を得る必要があります。
- 官庁訪問は、国家公務員採用試験合格者が志望する府省を訪問し、採用選考を受けるものです。
- 官庁訪問の際には、各府省の職員からの業務説明（原課訪問）が行われる場合もあり、志望府省に関する知識を深め、自身の希望とマッチするか判断する重要な機会となります。
- 複数の府省を訪問できますので、志望府省を積極的に訪問しましょう。

官庁訪問で心掛けたこと、これから官庁訪問する人へ
アドバイスををお願いします。

◀ 若手職員体験談 ▶

Aさん

志望動機の軸を明確にし、技術への関心を自身の経験と結び付けて伝えることを意識しました。面接は対話の場ですので、構えず、自分の関心や思いを誠実に伝えることが大切だと思います。

Bさん

民間や他省庁ではなく、なぜその省庁を志望するのか、自分の言葉で答えられるように準備しました。また、興味のある分野だけでなく、訪問する省庁の所管分野の最新の政策を調べ、自分なりの問題意識を整理して臨みました。

Cさん

官庁訪問に備えては、各組織のビジョンや所管する範囲を調査し、ご自身の挑戦したいことと比較してみてください。官庁訪問では、志望される内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることが重要だと感じます！

Dさん

国家公務員は、いくら優秀でもコンプライアンス意識が低い人には務まりません。一般企業のインターンや面接にも通じることですが、日頃から「自分の行動が他人の目にどう映っているか」を意識して自分を律するようにしましょう。

詳しくはこちら（総合職）▶



詳しくはこちら（一般職）▶



官庁訪問のルールやスケジュール等の詳しい情報を知りたい方は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」内の「採用情報」をご覧ください。

試験結果（総合職・一般職）

2026年度総合職試験実施状況（院卒者試験）

（単位：人、倍）

試験の区分	申込者数 (a)	第1次試験		第2次試験 受験者数	最終合格者数 (c)	倍率	
		受験者数(b)	合格者数			a/c	b/c
行政	282 (91)	219 (81)	200 (71)	172 (59)	160 (56)	1.8	1.4
人間科学	112 (77)	98 (68)	86 (62)	70 (49)	61 (41)	1.8	1.6
デジタル	48 (10)	36 (9)	34 (9)	28 (8)	23 (7)	2.1	1.6
工学	239 (31)	174 (24)	163 (24)	131 (23)	114 (20)	2.1	1.5
数理科学・物理・地球科学	125 (26)	98 (22)	94 (22)	77 (18)	57 (9)	2.2	1.7
化学・生物・薬学	272 (116)	209 (92)	185 (75)	150 (64)	115 (48)	2.4	1.8
農業科学・水産	104 (30)	90 (25)	85 (22)	67 (19)	64 (18)	1.6	1.4
農業農村工学	10 (3)	9 (3)	8 (3)	7 (3)	7 (3)	1.4	1.3
森林・自然環境	83 (36)	62 (31)	60 (29)	52 (24)	49 (24)	1.7	1.3
合 計	1,275 (420)	995 (355)	915 (317)	754 (267)	650 (226)	2.0	1.5

（注1）（ ）内の数字は女性を内数で示す。

（注2）受験者数は、第1次試験又は第2次試験のそれぞれ最後の試験種目を受験した人数である。

2026年度総合職試験実施状況（大卒程度試験）

（単位：人、倍）

試験の区分	申込者数 (a)	第1次試験		第2次試験 受験者数	最終合格者数 (c)	倍率	
		受験者数(b)	合格者数			a/c	b/c
政治・国際・人文	1,006 (512)	825 (440)	350 (150)	288 (125)	186 (85)	5.4	4.4
法律	4,440 (2,259)	3,782 (1,955)	457 (176)	339 (122)	214 (81)	20.7	17.7
経済	785 (307)	659 (268)	168 (49)	141 (42)	85 (24)	9.2	7.8
人間科学	214 (144)	181 (124)	83 (57)	68 (45)	44 (30)	4.9	4.1
デジタル	123 (29)	92 (21)	70 (16)	57 (14)	36 (10)	3.4	2.6
工学	624 (141)	496 (115)	421 (96)	329 (73)	263 (54)	2.4	1.9
数理科学・物理・地球科学	111 (29)	85 (21)	59 (10)	49 (9)	30 (6)	3.7	2.8
化学・生物・薬学	228 (120)	186 (97)	86 (35)	75 (32)	52 (23)	4.4	3.6
農業科学・水産	286 (151)	250 (135)	218 (116)	159 (81)	134 (68)	2.1	1.9
農業農村工学	117 (40)	96 (34)	80 (30)	69 (25)	57 (23)	2.1	1.7
森林・自然環境	144 (65)	118 (52)	96 (42)	73 (32)	57 (23)	2.5	2.1
教養（春）	3,133 (1,302)	2,175 (913)	408 (105)	372 (94)	213 (69)	14.7	10.2
合 計	11,211 (5,099)	8,945 (4,175)	2,496 (882)	2,019 (694)	1,371 (496)	8.2	6.5

（注1）（ ）内の数字は女性を内数で示す。

（注2）受験者数は、第1次試験又は第2次試験のそれぞれ最後の試験種目を受験した人数である。

（注3）2026年度の春試験のみ（秋試験除く）

教養（秋）を含む試験の
実施状況はこちら



2026年度一般職試験実施状況（大卒程度試験）

（単位：人、倍）

試験の区分		申込者数 (a)		第1次試験			第2次試験 受験者数		最終合格者数 (c)		倍率		
				受験者数 (b)		合格者数					a/c	b/c	
行政	北海道	674	(268)	541	(226)	501	(212)	419	(180)	388	(173)	1.7	1.4
	東北	1,091	(485)	863	(399)	780	(362)	649	(303)	541	(261)	2.0	1.6
	関東甲信越	6,340	(2,893)	4,442	(2,078)	2,516	(1,153)	2,131	(982)	1,812	(874)	3.5	2.5
	東海北陸	1,757	(875)	1,390	(703)	1,002	(497)	886	(443)	708	(382)	2.5	2.0
	近畿	2,483	(1,185)	1,865	(895)	992	(455)	903	(417)	716	(338)	3.5	2.6
	中国	993	(513)	774	(405)	578	(303)	480	(245)	442	(234)	2.2	1.8
	四国	674	(341)	544	(283)	386	(192)	340	(163)	259	(125)	2.6	2.1
	九州	1,685	(863)	1,286	(664)	1,134	(592)	948	(501)	613	(326)	2.7	2.1
	沖縄	388	(189)	305	(156)	198	(92)	185	(87)	139	(65)	2.8	2.2
	計	16,085	(7,612)	12,010	(5,809)	8,087	(3,858)	6,941	(3,321)	5,618	(2,778)	2.9	2.1
デジタル・電気・電子		410	(73)	252	(46)	208	(37)	166	(27)	154	(27)	2.7	1.6
機械		186	(17)	110	(8)	96	(8)	74	(6)	74	(6)	2.5	1.5
土木		510	(120)	345	(89)	280	(73)	209	(56)	200	(56)	2.6	1.7
建築		87	(43)	41	(25)	38	(22)	26	(15)	25	(15)	3.5	1.6
物理		271	(69)	187	(49)	176	(43)	152	(38)	140	(34)	1.9	1.3
化学		380	(178)	226	(101)	184	(77)	143	(61)	137	(59)	2.8	1.6
農学		597	(295)	426	(211)	378	(192)	290	(150)	274	(146)	2.2	1.6
農業農村工学		130	(43)	93	(32)	86	(32)	54	(19)	52	(18)	2.5	1.8
林学		306	(121)	212	(83)	187	(76)	131	(52)	124	(51)	2.5	1.7
計		2,877	(959)	1,892	(644)	1,633	(560)	1,245	(424)	1,180	(412)	2.4	1.6
教養	北海道	242	(85)	182	(60)	148	(49)	120	(40)	112	(39)	2.2	1.6
	東北	352	(149)	270	(114)	221	(89)	196	(78)	175	(73)	2.0	1.5
	関東甲信越	3,477	(1,663)	2,569	(1,230)	864	(388)	763	(348)	640	(313)	5.4	4.0
	東海北陸	1,044	(513)	782	(386)	175	(73)	148	(61)	127	(58)	8.2	6.2
	近畿	968	(422)	632	(298)	153	(63)	130	(57)	110	(50)	8.8	5.7
	中国	342	(167)	277	(145)	168	(86)	135	(73)	125	(70)	2.7	2.2
	四国	179	(83)	136	(66)	114	(53)	91	(48)	81	(44)	2.2	1.7
	九州	630	(274)	453	(201)	325	(145)	274	(124)	185	(93)	3.4	2.4
	沖縄	233	(78)	183	(61)	94	(29)	86	(26)	72	(24)	3.2	2.5
	計	7,467	(3,434)	5,484	(2,561)	2,262	(975)	1,943	(855)	1,627	(764)	4.6	3.4
合 計		26,429	(12,005)	19,386	(9,014)	11,982	(5,393)	10,129	(4,600)	8,425	(3,954)	3.1	2.3

（注1）（ ）内の数字は、女性を内数で示す。

（注2）受験者数は、第1次試験又は第2次試験のそれぞれ最後の試験種目を受験した人数である。

府省等別・試験の区分別採用状況

総合職試験

府省等別・試験の区分別採用状況

(令和8年4月1日現在)

府省等	試験の区分	院卒者試験										大卒程度試験												合計
		行政	人間科学	デジタル	工学	数理科学・物理・地球科学	化学・生物・薬学	農業科学・水産	農業農村工学	森林・自然環境	法務	政治・国際・人文	法律	経済	人間科学	デジタル	工学	数理科学・物理・地球科学	化学・生物・薬学	農業科学・水産	農業農村工学	森林・自然環境	教養	
会計検査院											2 (1)	2 (1)				1								5 (2)
人事院	1										1 (1)							1					2 (1)	5 (2)
内閣府	5 (3)				1						1 (1)	5 (2)	1	1 (1)									7 (1)	21 (8)
デジタル庁	2 (1)					1 (1)					1	1			1								1 (1)	7 (3)
公正取引委員会	1											4 (3)	1 (1)										2 (1)	8 (5)
警察庁		1 (1)	2 (2)	1		4 (3)						5 (2)			1	3 (1)							15 (4)	32 (13)
個人情報保護委員会												1												1
金融庁						1				1 (1)	1	3 (3)	1 (1)										5 (1)	12 (6)
消費者庁	2	1 (1)										1											1	5 (1)
こども家庭庁	1	2 (2)												1 (1)										4 (3)
総務省	7 (4)			2 (1)	2	1			1 (1)		4 (2)	2 (1)	1		4 (1)			1	1 (1)				36 (15)	62 (26)
消防庁						2 (1)												1 (1)						3 (2)
法務省	1	12 (9)									3 (1)	9 (5)		6 (6)	1								2 (2)	34 (23)
出入国在留管理庁		1 (1)									6 (4)	1	1 (1)										1	10 (6)
公安調査庁	2 (2)										2	1											1 (1)	6 (3)
外務省											9 (5)	2	1 (1)										25 (10)	37 (16)
財務省	4 (3)						1 (1)				4 (1)	5 (2)	4 (1)			1							23 (10)	42 (18)
国税庁	1			1 (1)		2 (1)	2 (1)				3 (1)		1										7 (4)	17 (8)
文部科学省	4 (3)		1	2 (1)	1	3	2 (1)		1 (1)	1	1 (1)	1		2 (2)		1 (1)		1 (1)	1 (1)				14 (4)	36 (16)
厚生労働省	10 (6)	5 (3)	1		4	10 (5)	1		1		8 (7)	5 (3)	2	3 (2)	2		2		2 (2)				15 (5)	71 (33)
農林水産省	2 (1)			1	1	9 (5)	25 (9)	2	10 (4)			2 (2)	1			4 (1)		2	18 (7)	17 (5)	8 (6)	22 (9)	124 (49)	
経済産業省	4 (2)			5 (3)		4 (2)				1 (1)	3 (1)	2 (1)	2			1 (1)	1	1			1	33 (8)	58 (19)	
特許庁			5 (2)	11 (1)	2 (1)	13 (7)	3 (1)								4 (2)	5 (3)	2 (1)	12 (6)	6 (3)	1 (1)				64 (28)
国土交通省	3			19 (3)	3	1	1	2	3 (1)		8 (2)	2 (1)	2 (1)		1	57 (8)	4	2	1	2 (1)	4 (2)	19 (3)	134 (22)	
気象庁					6												3 (1)							9 (1)
海上保安庁					1		1																	2
環境省	3 (3)			1		5 (1)	2 (1)		7 (2)		3 (1)	3 (1)	1 (1)			4 (2)		1	1 (1)		1 (1)	11 (4)	43 (18)	
原子力規制庁						1										2 (1)								3 (1)
(独)造幣局													1											1
(独)国立印刷局						1										1								2
防衛省	2 (2)			5 (1)	1	2 (1)			2 (1)		7 (2)	2 (2)				2						9 (3)	32 (12)	
防衛装備庁				9 (1)	2	3 (2)										8 (1)		2						24 (4)
参議院法制局										1														1
合 計		55 (30)	22 (17)	9 (4)	57 (12)	24 (1)	63 (29)	38 (14)	4	25 (10)	4 (2)	67 (31)	59 (29)	20 (7)	13 (12)	14 (3)	90 (19)	12 (2)	24 (8)	30 (15)	20 (7)	14 (9)	251 (87)	915 (348)

(注1) 2025年度総合職試験の合格者で最終合格者発表日以後令和8年4月1日までの間に採用された者の数です(過年度試験の合格者で同期間内に採用された者を含む。)

(注2) ()内の数字は、女性の内数です。

令和10年4月の採用予定数は、令和9年1月下旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。

その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。

なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。

一般職試験（大卒程度試験）

府省等別・試験の区分別採用状況

（令和8年4月1日現在）

府省等 試験の区分	行政	教養	デジタル・ 電気・電子	機械	土木	建築	物理	化学	農学	農業 農村工学	林学	合計
会計検査院	29 (18)	5 (3)							1 (1)			35 (22)
人事院	9 (6)											9 (6)
内閣官房	10 (5)	5 (4)		4 (2)			1					20 (11)
内閣法制局	2 (1)											2 (1)
内閣府	27 (15)	6 (1)	1	1	1	1		1	2 (1)	1	1 (1)	42 (18)
デジタル庁	4 (2)	1 (1)	3 (1)						1			9 (4)
宮内庁	5 (4)	3 (1)		1								9 (5)
公正取引委員会	20 (10)	2 (2)										22 (12)
警察庁	51 (21)	19 (8)	23 (8)		1 (1)	1 (1)	3	12 (5)	7 (3)			117 (47)
個人情報保護委員会	5 (5)	1 (1)										6 (6)
カジノ管理委員会	4 (2)	1 (1)										5 (3)
金融庁	25 (12)	3 (1)				1 (1)						29 (14)
消費者庁	1 (1)	1 (1)										2 (2)
こども家庭庁	25 (23)	6 (3)										31 (26)
総務省	99 (50)	18 (9)	6				1	1 (1)				125 (60)
消防庁												
法務省	238 (115)	7 (4)	1	1								247 (119)
検察庁	229 (124)	8 (4)										237 (128)
出入国在留管理庁	166 (113)	39 (19)										205 (132)
公安調査庁	64 (36)	8 (5)										72 (41)
外務省	4 (3)		1			2	1					8 (3)
財務省	9 (3)											9 (3)
財務省財務局					1 (1)	2 (1)						3 (2)
財務省税関	219 (113)	20 (7)	1	2				14 (6)	3 (2)			259 (128)
文部科学省	26 (15)	4 (2)	1				1	6 (4)				38 (21)
厚生労働省	641 (334)	97 (54)	1									739 (388)
農林水産省	141 (76)	14 (11)	4 (1)		3 (1)			6 (3)	71 (36)	18 (4)	4 (3)	261 (135)
林野庁	42 (19)										54 (16)	96 (35)
水産庁	6 (1)											6 (1)
経済産業省	85 (42)	3 (1)	6	1	3 (1)	1 (1)	1	10 (7)	3 (1)			113 (53)
特許庁	36 (20)	1 (1)										37 (21)
国土交通省	415 (173)	82 (35)	24	24 (1)	103 (20)	15 (8)	13 (1)	15 (3)	21 (2)	4 (3)	7 (3)	723 (249)
気象庁	31 (20)	16 (7)	5		2		55 (13)	20 (8)	14 (4)		2	145 (52)
運輸安全委員会	2			1				1 (1)				4 (1)
海上保安庁	1 (1)											1 (1)
環境省	24 (15)	3 (1)		1		1		3 (1)	8 (2)	1 (1)	19 (8)	60 (28)
原子力規制庁	7 (6)	5 (1)	2 (1)				1	3 (2)				18 (10)
行政執行法人	21 (12)	8 (5)	1 (1)	2			1	12 (5)	16 (12)			61 (35)
防衛省	168 (64)	56 (13)	13	2	4 (1)	1 (1)	1					245 (79)
防衛装備庁	20 (10)	6 (3)		1				4 (1)		1		32 (14)
衆議院事務局				1								1
衆議院法制局	1											1
合計	2,912 (1,490)	448 (209)	93 (12)	42 (3)	118 (25)	25 (13)	79 (14)	108 (47)	147 (64)	25 (8)	87 (31)	4,084 (1,916)

（注1） 2025年度一般職試験（大卒程度試験）の合格者で最終合格発表日以後令和8年4月1日までの間に採用された者の数です（過年度試験の合格者で同期間内に採用された者を含む。）。

（注2）（ ）内の数字は、女性の内数です。

令和10年4月の採用予定数は、令和9年1月中旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。

その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。

なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考になしてください。

女性の登用状況などの
情報は、女性活躍推進法
「見える化」サイト等で
ご覧いただけます。



人事院地方事務局（所）の連絡先

北海道事務局	Tel. 011-241-1248	〒060-0042 札幌市中央区大通西12丁目
東北事務局	Tel. 022-221-2022	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23
関東事務局	Tel. 048-740-2006	〒330-9712 さいたま市中央区新都心1-1
中部事務局	Tel. 052-961-6838	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1
近畿事務局	Tel. 06-4796-2191	〒553-8513 大阪市福島区福島1-1-60
中国事務局	Tel. 082-228-1183	〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30
四国事務局	Tel. 087-880-7442	〒760-0019 高松市サンポート3-33
九州事務局	Tel. 092-431-7733	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1
沖縄事務所	Tel. 098-834-8400	〒900-0022 那覇市樋川1-15-15

国家公務員試験や採用に関する最新の情報はこちらをチェック！



国家公務員試験採用情報NAVI

<https://www.jinji.go.jp/saiyo.html>

YouTube

https://www.youtube.com/channel/UCTk_x9QBe3EnDPSP2a0DrQg



X(旧Twitter)

https://x.com/jinjiin_saiyo

Instagram

<https://www.instagram.com/jinjiin.saiyo/>



Threads

<https://www.threads.net/@jinjiin.saiyo>

メールマガジン

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/merumaga.html>



note

<https://fusyououdan-jinji-gov.note.jp/>

内閣人事局のホームページ 国家公務員 CAREER GUIDE

<https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/recruit/index.html>



お問い合わせ

人事院 人材局 企画課 人材確保対策室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-3 虎ノ門アルセアタワー
Tel. 03-3581-5311 (代表)